

水源の里だより

新たなまちづくりに向けて

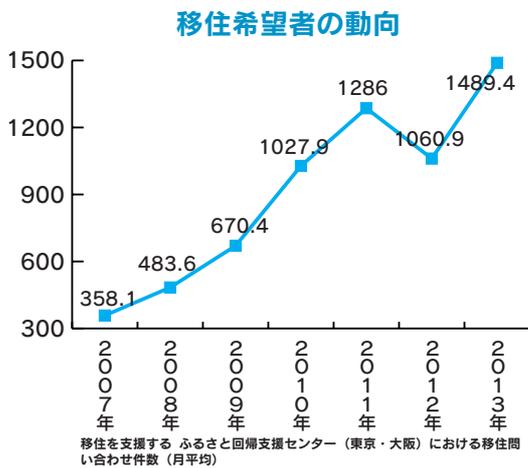
～集落間連携と新たな定住者の受入れで広がる可能性～

水源の里まいばら元気みらい条例で指定する姉川上流の8集落では、市内の全集落が今後直面する過疎高齢化の先進地域として、モデル的な取り組みが進められています。

過疎化により小規模化し高齢化が進んだ集落では、集落の自治やまちづくりを担う人材が不足します。指定地域で活動する「東草野まちづくり懇話会」と「姉川せせらぎ懇話会」では、近隣の集落が連携・協力する関係を結び、地域へ新たな定住者を迎え入れることで、不足する人材を補い、地域の活力を高めながら、まちづくりを行っていかうという試みが行われています。

高まる気運 ～都市から地方へ～

近年、都市部を中心として農山村への移住を希望する人々が増加しています。都市部で開催される全国規模の移住相談イベントには毎年数千



人が訪れており、最近では退職世代の方々だけでなく、若い夫婦や女性の移住希望者も多く見受けられるようになってきました。

こうした気運を捉え、人口減少で人材が不足する地域に新しい力を迎える取り組みが全国に広がっています。移住希望者向けの相談窓口の設置や様々な支援策を展開する自治体は増加し、市でも実施している総務省の地域おこし協力隊(※)の取り組みは、全国207(H24年度末)の自治体に広がりました。県内でも実施する自治体が続々と増えています。(※都市住民の移住を受入れ地域おこし活動を行ってもらう取り組み。米原市では「みらいづくり隊員」として活動。)



▲東草野まちづくり懇話会が11月に開催した空き家見学会には、兵庫、大阪、岐阜など県外の方も含め16人が参加しました。



▲東京で開催された移住相談会での米原市ブースの様子。参加者にはお子さん連れの夫婦など若い世代も多い。

移住から定住へ

こうした中、姉川上流の懇話会では、新たな定住者を迎え入れ、地域を活性化しようとする取り組みが6年前から始まっています。条例の指定地域となつて以降、この地域には、みらいつくり隊員を始め、様々な地域から10世帯以上が移り住んでおられます。

こうした移住者の方々は、水源の里の素晴らしい自然の中での暮らしや、地域の人々との繋がりの中での暮らしに魅力を感じておられるようです。



▲指定地域では、移住者が結婚し、未来への可能性が広がっています。

人口減少が進み小規模化した集落においては、一人ひとりの人間の存在感が大きくなります。そのことが、人口の多い都会から移り住んだ人にとって大きな魅力になるのではないのでしょうか。

受け入れ側の集落からは、「移り住んでくれて本当に良かった」「息子や孫のようだ」「にぎやかになった」といった声が聞かれます。特に一人暮らしのお年寄りにとって、近隣の空き家に明かりが点くことは、大きな安心感にもつながるようです。

また、移住者の方々もたらず新たな価値観は、地域の方々が気付かなかつた地域の魅力にも光を当てています。

.....

外部からの新たな住民の受け入れは、不安を感じる声や、精神的な負担を感じるといった声があることも事実です。そのため、地域内における合意形成、住まいや仕事の確保など様々な課題はありますが、新たな定住者の受け入れは、これからも住み続けたいまちとしての魅力や誇り、住

み良さを高め、地域を持続させていく方法のひとつです。みなさんの地域でも検討してはいかがでしょうか。

地域に新たな定住者を迎え入れ、地域の活性化、自治の担い手づくりへの取り組みに関心がある方は、政策調整課(水源の里振興担当)までお問い合わせください。

市 政 ウオッチ 職員いきます！プロジェクト 地域担当職員制度

平成25年10月にスタートした地域担当職員制度。現在8つの自治会から、地域の課題の解決に向け、職員派遣の依頼がありました。

各部署から職員3人がチームとなつて、約1年間、区の会議に参加したり、専門機関や担当課との調整を行うなど、行政職員としての知識、経験、人脈を生かしてみなさんと一緒に活動します。

- 上板並区 「地域の活性化」
- 弥高区 「自主防災組織の強化・充実」
- 杉澤区 「地域課題の抽出、検討」
- 南川区 「自治会活動の強化」
- 大清水区 「活力ある自治会運営と再生可能エネルギーの有効活用」
- 新庄区 「地域の防災体制の見直しと絆づくり」
- 顔戸区 「複合的交通安全対策」
- 上丹生区 「災害対応と高齢化」

詳しくは、下記へお問い合わせください。

問 各市民自治センター
 山東 ☎55—8101 伊吹 ☎58—2221
 米原 ☎52—6623 近江 ☎52—6920

お問い合わせ 政策調整課 水源の里振興担当 (伊吹庁舎)
 ☎58—1121 ☎58—1630